

(リスクアセスメント) 簡易路肩規制 作業手順書

会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱	主な設備、仕様機械	主な使用工具、器具	安全設備、保護具	使用材料
作成日	令和6年11月25日	2tトラック、3tトラック、標識車		ヘルメット、手袋、安全靴、安全チョッキ からまんでーW(黄旗)、しらすんだー受信機 消火器	規制材一式
改訂日					
作成者	渡部				
必要資格等	運転免許(普通、準中型)、職長教育講習			作業人員	2名
備考					その他

作業工程	No	単位作業とその主な手順	危険有害要因(予測される災害・事故) (品質、トラブルも含む)	危険要因			危険有害要因低減対策	誰が		対策後			【留意参考事項】
				可能性	重大性	評価		点検・確認	可能性	重大性	評価		
準備工		作業前ミーティング											
	1	作業打合せをする(危険予知活動)	現場、施工方法等について十分な知識を有していない	2	2	4	規制協議書(規制図)の確認をする	全員	1	2	2		
	2	作業責任者の確認をする	作業員同士の意思疎通が行われていない	2	1	2	作業分担、配置、使用車両の確認をする	全員	1	1	1		
	3	車両の点検をする	車両の不具合がおきる	2	2	4	車両点検をする(回転灯の作動も含む)	全員	1	2	2		
			荷物が飛散して事故がおきる	2	2	4	荷台に養生ネットを施し、規制材は、ロープ等で固定する	全員	1	1	1		
			スベアタイヤが落下して事故がおきる	2	2	4	落下防止対策を確実にする	全員	1	2	2		
	4	標識機材の確認をする	規制材の数量を間違える	1	2	2	規制延長を確認する	全員	1	1	1		
			電装機器(からまんでーW・しらすんだー)が正常に動かない	2	2	4	電装機器の交換、電池等を入れ替える	全員	1	2	2		
	5	規制形態の確認をする	協議書通りの規制でない	1	1	1	規制協議書(警察協議)の規制図を確認する	全員	1	1	1		
移動		現場への移動											
	1	交通ルールを守り運転する	人身、物損事故	3	3	9	指差呼称を実施して安全確認する	運転手、助手	1	2	2		
	2	高速道路に入る前にプレート区間の確認	プレート区間外使用、不正使用	2	1	2	通用区間、プレート、車番を確認する	運転手、助手	1	1	1		
本作業		規制設置											
	1	矢印板5枚を路肩に設置し標識装置付きの車両を設置	車両駐車時のサイドブレーキ、ハンドル切り、サイドミラー格納、輪止め忘れ	2	2	4	目視で確認を徹底する	全員	1	2	2	・ながら運転をしないように	
	2	ラバコンを20m間隔に設置せる	ラバコンを落下させてケガをする	2	2	4	滑り止め付き手袋を使用するなど落下対策を行う	全員	1	2	2	・車両から降りて保安する際は、通行車両に正対する	
交通監視誘導	1	交通監視員は、標識車付近で監視し、異常があれば	テープ内及び現場内に通行車両が突っ込む	2	3	6	避難場所を決めて、安全を確保する	全員	2	1	2	・規制材設置時、回収忘れがなように確認する ・停車時、ハンドル切り・輪止めも確実にを行う	
撤去	1	規制車を後退させながらラバコンを積み込む また規制延長が短い際は人力にて撤去する	回収すれによる事故発生のおそれ	1	3	3	規制材回収後、全員で再度、規制材の確認をする	全員	1	1	1	【セーフティーバイブル】 ・全体編【WH-19】消火器	
	2	交通監視員はテープ上流50m付近で黄旗で注意喚起	テープ内及び現場内に通行車両が突っ込む	2	3	6	避難場所を決めて、安全を確保する	全員	2	1	2	・規制編【RE-01】協議書	
	3	矢印板5枚を撤去する	積載中に通行車両と接触する	2	3	6	なるべく走行車両側で作業しない	全員	2	1	2	・規制編【RE-04】からまんでーW、レッドホーンW ・規制編【RE-05】しらすんだー	
離脱		現場離脱											
	1	交通ルールを守り運転する	人身、物損事故	3	3	9	周囲確認をして運転する	運転手、助手	1	2	2	・規制編【RE-24】矢印板用ウエイト ・規制編【RE-26】セーフティーバー ・規制編【RE-27】監視の位置	